

安中市有害鳥獣捕獲隊

安中市有害鳥獣捕獲隊は、猟友会などに所属し、様々な銃猟免許を所持する、狩猟の経験が豊富な人を中心とした集まりです。

普段は、それぞれ仕事をしていますが、市が市民の皆さんから害獣駆除の依頼を受けると、朝や夕方などに見回りや捕獲、現地での指導などを行っています。現在の隊員は約80人、安中と松井田地域に分かれ、女性隊員も活躍しています。

今回は、坂田育次隊長と、今年4月から新たに加わった若手隊員2人に、鳥獣被害対策と活動への思いについてお聞きしました。



左から、捕獲隊の藤田咲子さん、坂田育次隊長、境谷俊人さん

捕獲隊に聞く「クマ対策」

捕獲隊の坂田隊長によると、「人家近くに出没するクマは人間が食べる物の匂いにひかれてくる可能性があるので、家の外に匂いの強い物を置かない、不要な果実はすぐに処理することが大切。」といいます。

若い人が捕獲隊に興味を

市街地に出没し、被害をもたらす有害鳥獣が年々増える一方、高齢化などにより狩猟者は減っています。安中市も例外ではありません。今年から隊員になった境谷さんは「地元出身で狩猟に興味があり、地域貢献がしたかった」、自給自足生活にあこがれ県外から本市に移住したという藤田さんも「女性の仲間が増えてほしい。自分でとったお肉はとてもおいしいですよ」



設置したオリを見回る捕獲隊員

と話します。捕獲隊は、市民の生活と農業を守る若い力を待っています。



活用しましょう 「群馬県クマ出没マップ」

詳しくは
こちら



県内各地のクマ目撃・出没情報が、県庁で公開されています。地図上の印を押すと、目撃日時や場所、頭数、被害の有無などを確認できます。

クマとの遭遇は突発的に起こることが多く、予測することは困難です。仕事や登山などでクマの生息地域に入る際、思いがけず出合ってしまう危険を少しでも減らすため、あらかじめ情報を得ることで、自分の身を守りましょう。

